



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年2月9日

上場会社名 株式会社チノー 上場取引所 東  
 コード番号 6850 URL https://www.chino.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 豊田三喜男  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営管理本部長 (氏名) 大森一正 TEL 03-3956-2115  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	14,177	3.0	240	△21.1	322	△64.4	645	△2.3
2020年3月期第3四半期	13,760	△8.5	304	△68.8	906	△13.6	660	4.6

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 846百万円 (41.6%) 2020年3月期第3四半期 597百万円 (47.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	76.25	—
2020年3月期第3四半期	78.00	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	28,494	18,538	55.4	1,863.62
2020年3月期	26,708	16,318	57.6	1,815.33

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 15,785百万円 2020年3月期 15,377百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
2021年3月期	—	0.00	—		
2021年3月期（予想）				40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,200	△1.9	880	△14.3	950	△43.6	990	△18.7	116.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注)詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	9,260,116株	2020年3月期	9,260,116株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	789,635株	2020年3月期	789,236株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	8,470,691株	2020年3月期3Q	8,471,360株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

第3四半期決算補足説明資料は、後日当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の経済環境は、以前から続く米中貿易摩擦の影響に加え、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響により、世界経済、日本経済ともに総じて厳しい状況が継続しました。外出制限等の解除後は、停滞していた経済活動が徐々に再開に向かい、日本国内の景況感は緩やかに回復する動きがみられましたが、足元の感染症の再拡大により、先行きは依然不透明な状況が続いています。

当社グループ事業全般に影響する製造業の設備投資は、先送りや中断などの動きがあり低迷状態が継続しました。主要販売先である自動車関連や電子部品関連の一部の顧客では生産活動が回復し、設備投資を再開する動きも見られましたが、総じて慎重な姿勢が継続し、受注環境は厳しい状況となりました。

このような状況のなか、当社グループは、生産現場で不可欠な温度計測・監視の製品やソリューションの提供拡大に努め、社会・企業のデジタルトランスフォーメーション等で成長の加速が見込まれる半導体・電子部品関連向けや、EV化が進む自動車関連の生産設備向け等を中心に受注活動を展開いたしました。生産設備以外の分野においても、入退場時発熱者監視システムや換気環境監視モニタ等の感染症対策ソリューション、輸送・配送の温度管理システム、食の安全に関わる温度管理ソリューションの提供等、事業拡大に努めております。

また、お客様、お取引先様および社員の新型コロナウイルス感染症の感染リスク軽減のため、Web会議やリモートワークの活用を拡大するとともに、経費削減、不急の設備投資の見直し、業務の合理化など企業体質の強化に向けた取り組みを継続しております。

当第3四半期連結累計期間の受注高は14,923百万円（前年同四半期比5.4%減）、売上高は14,177百万円（前年同四半期比3.0%増）となりました。利益面につきましては、営業利益240百万円（前年同四半期比21.1%減）、経常利益322百万円（前年同四半期比64.4%減）、明陽電機株式会社の連結子会社化に伴い特別利益として負のれん発生益557百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は645百万円（前年同四半期比2.3%減）となりました。

なお、当社グループの売上高および利益は、例年、第4四半期に集中し、第3四半期までの各期の売上高および利益は第4四半期の業績水準と比べ乖離が大きくなる傾向にあります。

セグメント別の状況は、次のとおりであります。

#### ①計測制御機器

売上高は4,857百万円（前年同四半期比11.5%減）、セグメント利益（営業利益）は581百万円（前年同四半期比19.2%減）となりました。主力製品である記録計、調節計、サイリスタレギュレータがいずれも、国内外の主要顧客の設備投資の先送りや中断の動きがあり、当セグメント全体の売上高、利益は前年同期比で減少となりましたが、電子部品関連の製造装置向け等につきましては、当第3四半期会計期間から需要回復が見られます。民生用機器については体表面温度チェッカ等の需要増に対応し堅調でした。

#### ②計装システム

売上高は4,048百万円（前年同四半期比10.9%減）、セグメント利益（営業利益）は108百万円（前年同四半期比48.5%減）となりました。電子部品関連の製造装置向け等は当第3四半期会計期間から需要が回復基調にあります。自動車関連では、燃料電池評価試験装置の売上が前年同期比減少となっておりますが、通期では前年度と同水準となる見込みです。医薬品等の温湿度管理システムについては需要の拡大は続いており、今後の売上増加が見込まれます。

#### ③センサ

売上高は4,663百万円（前年同四半期比50.8%増）、セグメント利益（営業利益）は574百万円（前年同四半期比32.2%増）となりました。明陽電機株式会社（当期より連結子会社化）の売上が、船用市場を中心に堅調に推移していることを主因して前年同期比増収となりました。半導体関連の製造装置向けは、海外向けの放射温度計等の需要が堅調に推移しています。感染症対策ソリューションとして、体表面温度発熱監視装置等の需要に対応しました。

#### ④その他

売上高は607百万円（前年同四半期比4.4%減）で、セグメント利益（営業利益）は155百万円（前年同四半期比5.8%増）となりました。

(参考) セグメント別の受注実績及び売上実績ならびに営業利益実績

受注実績（セグメント別）

(単位：千円)

セグメントの名称	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減(金額)	増減(比率)(%)
計測制御機器	5,267,199	4,747,038	△520,160	△9.9
計装システム	6,652,678	4,816,673	△1,836,004	△27.6
センサ	3,349,493	4,862,447	1,512,953	45.2
その他	502,275	497,755	△4,520	△0.9
合計	15,771,647	14,923,914	△847,732	△5.4

売上実績（セグメント別）

(単位：千円)

セグメントの名称	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減(金額)	増減(比率)(%)
計測制御機器	5,486,106	4,857,861	△628,245	△11.5
計装システム	4,545,761	4,048,404	△497,357	△10.9
センサ	3,093,488	4,663,679	1,570,191	50.8
その他	635,293	607,356	△27,936	△4.4
合計	13,760,649	14,177,302	416,652	3.0

売上実績（地域別）

(単位：千円)

セグメントの名称	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減(金額)	増減(比率)(%)
日本	10,769,415	11,896,780	1,127,365	10.5
アジア	2,659,642	2,015,771	△643,871	△24.2
北米	196,480	162,822	△33,658	△17.1
欧州	97,471	79,131	△18,340	△18.8
その他	37,641	22,798	△14,843	△39.4
合計	13,760,649	14,177,302	416,652	3.0

営業利益実績（セグメント別）

(単位：千円)

セグメントの名称	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減(金額)	増減(比率)(%)
計測制御機器	719,585	581,319	△138,265	△19.2
計装システム	210,577	108,484	△102,092	△48.5
センサ	434,285	574,193	139,908	32.2
その他	147,062	155,518	8,456	5.8
全社費用(注)	△1,206,769	△1,179,071	27,698	—
合計	304,740	240,443	△64,297	△21.1

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期期末は、明陽電機株式会社の子会社化を主因として、資産、純資産が増加しました。

（資産）

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,785百万円増加し、28,494百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,683百万円増加し、19,105百万円となりました。主な増減は、現金及び預金の増加1,677百万円、たな卸資産の増加1,265百万円、売上債権の減少1,216百万円等であります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ102百万円増加し、9,388百万円となりました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べて433百万円減少し、9,955百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ253百万円減少し、6,809百万円となりました。主な要因は仕入債務の減少77百万円等であります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ180百万円減少し3,145百万円となりました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2,219百万円増加し、18,538百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期（2020年4月1日～2021年3月31日）の連結業績予想につきましては、2020年11月11日に公表いたしました予想値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,650,885	6,327,988
受取手形及び売掛金	5,783,762	4,109,583
電子記録債権	1,544,056	2,002,018
有価証券	150,000	—
商品及び製品	712,932	774,388
仕掛品	2,002,352	2,678,114
原材料及び貯蔵品	2,277,153	2,805,096
その他	305,546	409,846
貸倒引当金	△4,759	△1,547
流動資産合計	17,421,931	19,105,488
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,476,258	3,130,624
その他	2,281,264	2,497,891
有形固定資産合計	4,757,522	5,628,515
無形固定資産		
その他	327,934	316,526
無形固定資産合計	327,934	316,526
投資その他の資産		
その他	4,249,164	3,487,583
貸倒引当金	△48,258	△44,044
投資その他の資産合計	4,200,905	3,443,538
固定資産合計	9,286,362	9,388,580
資産合計	26,708,293	28,494,069

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,027,398	1,905,215
電子記録債務	1,822,960	1,868,018
短期借入金	1,194,200	1,329,200
1年内返済予定の長期借入金	380,476	304,441
未払法人税等	125,024	199,712
賞与引当金	531,244	239,743
設備関係電子記録債務	121,248	40,434
その他	860,506	922,789
流動負債合計	7,063,059	6,809,556
固定負債		
長期借入金	1,260,009	1,045,250
退職給付に係る負債	1,354,989	1,310,979
役員退職慰労引当金	397,837	450,869
その他	313,402	338,688
固定負債合計	3,326,238	3,145,787
負債合計	10,389,297	9,955,343
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,292,027	4,292,027
資本剰余金	4,053,230	4,053,230
利益剰余金	8,312,042	8,568,583
自己株式	△1,156,560	△1,157,105
株主資本合計	15,500,739	15,756,736
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	101,445	255,645
為替換算調整勘定	△23,174	△48,901
退職給付に係る調整累計額	△201,547	△177,752
その他の包括利益累計額合計	△123,276	28,992
非支配株主持分	941,533	2,752,997
純資産合計	16,318,996	18,538,725
負債純資産合計	26,708,293	28,494,069



（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 （四半期連結損益計算書）  
 （第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）
売上高	13,760,649	14,177,302
売上原価	9,515,881	10,122,536
売上総利益	4,244,768	4,054,765
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	1,620,264	1,701,206
賞与引当金繰入額	91,737	69,950
退職給付費用	96,332	116,218
役員退職慰労引当金繰入額	50,067	45,672
研究開発費	463,337	432,257
その他	1,618,288	1,449,016
販売費及び一般管理費合計	3,940,027	3,814,322
営業利益	304,740	240,443
営業外収益		
受取利息	12,286	6,176
受取配当金	41,987	38,479
売電収入	32,761	29,890
持分法による投資利益	555,290	—
その他	21,826	91,247
営業外収益合計	664,151	165,793
営業外費用		
支払利息	7,067	7,999
金融関係手数料	6,092	4,883
売電費用	15,405	13,178
為替差損	21,172	29,573
その他	13,047	28,395
営業外費用合計	62,785	84,030
経常利益	906,107	322,207
特別利益		
固定資産売却益	3,816	2,265
負ののれん発生益	—	557,005
特別利益合計	3,816	559,270
特別損失		
固定資産処分損	9,609	3,950
投資有価証券評価損	—	20,660
段階取得に係る差損	—	1,030
特別損失合計	9,609	25,641
税金等調整前四半期純利益	900,314	855,837
法人税等	181,764	135,048
四半期純利益	718,550	720,788
非支配株主に帰属する四半期純利益	57,754	74,906
親会社株主に帰属する四半期純利益	660,795	645,881

（四半期連結包括利益計算書）  
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年12月31日）
四半期純利益	718,550	720,788
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	40,291	156,317
為替換算調整勘定	△165,681	△54,582
退職給付に係る調整額	4,879	23,794
持分法適用会社に対する持分相当額	△382	—
その他の包括利益合計	△120,893	125,529
四半期包括利益	597,656	846,317
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	610,033	798,150
非支配株主に係る四半期包括利益	△12,376	48,167

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	計測制御 機器	計装 システム	センサ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,486,106	4,545,761	3,093,488	13,125,356	635,293	13,760,649
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,486,106	4,545,761	3,093,488	13,125,356	635,293	13,760,649
セグメント利益	719,585	210,577	434,285	1,364,448	147,062	1,511,510

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、修理・サービス等を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,364,448
「その他」の区分の利益	147,062
全社費用 (注)	△1,206,769
四半期連結損益計算書の営業利益	304,740

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	計測制御 機器	計装 システム	センサ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	4,857,861	4,048,404	4,663,679	13,569,945	607,356	14,177,302
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,857,861	4,048,404	4,663,679	13,569,945	607,356	14,177,302
セグメント利益	581,319	108,484	574,193	1,263,997	155,518	1,419,515

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、修理・サービス等を含んでおりません。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,263,997
「その他」の区分の利益	155,518
全社費用(注)	△1,179,071
四半期連結損益計算書の営業利益	240,443

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「センサ」セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間に明陽電機株式会社の株式を追加取得し、持分法適用関連会社から連結子会社としたことにより、負ののれん発生益557,005千円を計上しております。また、株式の追加取得時において段階取得に係る差損1,030千円を合わせて計上しております。

なお、当該負ののれん発生益等は報告セグメントには配分しておりません。